

社団法人 私立大学情報教育協会
平成 21 年度第 1 回栄養学教育 FD/IT 活用研究委員会 議事録

日 時： 平成 21 年 7 月 11 日（土） 13 時～15 時 30 分
場 所： 私立大学情報教育委員会
出席委員： 武藤 志真子（委員長）、中川 靖枝、酒井 映子、石崎 由美子、
高橋 啓子、室伏 誠、井上 節子
欠席委員： 市丸 雄平、小野坂 敏見
事務局： 井端 正臣（事務局長）、森下 幸平、恩田 希代子

報告

- 1 分野別委員会の活動の検討事項について報告を受けた。
- 2 前回の検討事項の確認をした。

検討事項

前回から継続審議になっている「学士力の詳細設計について」の最後の項目である 5 について、「知識」と「技能」が宿題となっていた。各委員から示されたそれぞれの案について活発に議論し、次の結論を得た。また、前回の検討事項の改善点が指摘され、検討の後訂正した。

5. 栄養マネジメントの基礎となる栄養評価と栄養改善計画が実施できる。

[知識]

- (1) 栄養アセスメント、栄養ケアプラン、モニタリング、評価、改善のシステムについて概説できる。
- (2) 栄養マネジメントの業務遂行上の機能や方法や手順が理解できる。
- (3) 栄養マネジメントのための他職種間との連携の必要性が理解できる。

[技能]

- (1) 栄養スクリーニング、栄養アセスメント、栄養ケアプラン、モニタリング、評価、改善のシステムに関する技術を身につけている。
- (2) 栄養マネジメントに必要な情報を収集、蓄積、分析し、活用できる。

前回の検討事項の改善事項

- 【改善前】 3. 疾病の予防・治癒および再発を防ぐための食事・栄養療法について、科学的根拠に基づき説明できる。

[知識]

- (1) 疾病の成因と治療法（食事療法、薬物療法、運動療法など）について

概説できる。

【技能】

- (1) 病態別の食事箋に基づく献立が作成できる。
4. 食環境づくり（食情報・食物確保・食の安全など）の必要性を理解できる。

【技能】

- (1) 正しい食情報にアクセスして、活用できる。
- (2) 食中毒を予防する技術を身に付けている。

【改善後】 4. 疾病の予防・治癒および再発を防ぐための食事・栄養療法について、科学的根拠に基づき説明できる。

【知識】

- (1) 疾病の成因と治療法（食事療法、運動療法、薬物療法など）について概説できる。

【技能】

- (1) 栄養成分別の食事箋に基づく献立が作成できる。
3. 食環境づくり（食情報・食物確保・食の安全など）の必要性を理解できる。

【技能】

- (3) 正しい食情報にアクセスして、活用し、発信できる。
- (4) 食の安全、安心に関する技術を身に付けている。

課題

- ※ コアカリキュラムのイメージ（測定の仕方をフィードバックしながら）についてもう一度見直しを行う。
- ※ 栄養教育の重要性を踏まえて、資格取得に限定した教育目標ではなくもっと拡がりをもたせるようにするにはどのようにしたらよいかについて検討する。